

第 132 回日本森林学会大会のお知らせ（第 2 回）

一般社団法人 日本森林学会会長 丹下 健
第 132 回日本森林学会大会運営委員長 土屋俊幸

別掲「開催方針」でご説明の通り、新型コロナウイルスの感染拡大に対する対応として、第 132 回大会はオンライン開催と致します。本お知らせでご案内できない部分につきましては、随時学会ウェブサイト (<https://www.forestry.jp>) に掲載します。また、日本森林学会メールマガジン（月 1 回配信）でもお知らせいたしますので、登録をお願い致します (<https://www.forestry.jp/mail/magazine/>)。なお、今回は、日本木材学会大会（2021 年 3 月 19 日(金)～3 月 22 日(月)）との合同大会を予定しています。これにともない、木材学会員との共同主催による企画シンポジウムの企画を歓迎します。

1. 日 程	午前	午後
2021 年 3 月 21 日（日）	受賞式・受賞者講演・ 各種委員会	公開シンポジウム
3 月 22 日（月）	口頭発表・ポスター発表	口頭発表
3 月 23 日（火）	口頭発表・ポスター発表	口頭発表
3 月 24 日（水）	関連研究集会	関連研究集会

2. 会 場

オンライン開催を基本に準備中ですが、状況によりプログラムの一部のみ（3 月 21 日の受賞式・受賞講演と公開シンポジウム）は現地開催の可能性があります。その場合、これらのプログラムは、オンラインでの配信も予定しています。

3. 参加・発表資格

【会員】

- 大会参加の事前申込みを行うことができます。
- 研究発表を行うことができます。
- 入会予定の方は学会ウェブサイトの「入会案内」を御覧下さい (<https://www.forestry.jp/welcome.html>)。入会手続きが完了していませんと、学術講演集原稿（要旨）の入稿ができませんので、お早めに入会手続きをお済ませください。

【非会員】

- 未定

【研究発表を行わない学部生（大会参加登録開始の時点で学部所属している学生）】

- 会員・非会員ともに大会参加費が無料となります。参加受け付け方法については、現在検討中。なお、「発表を行う学部生の学生会員」および「学部生以外の学生会員（例えば大学院生）」は大会参加費をお支払ください。

4. 研究発表の概要

- 研究発表は、部門別発表、公募セッション、企画シンポジウムに分けて行います。
- 発表形式（口頭発表とポスター発表）については、現在検討中です。
- 部門別発表は、林政、風致・観光、教育、経営、造林、遺伝・育種、生理、植物生態、立地、防災・水文、利用、動物・昆虫、微生物、特用林産の 14 部門となります。部門選択の際には 5. の部門キーワードを参考にしてください。
- 公募セッションは、既存の部門ではカバーできない部門横断的なテーマについて会員の研究交流を継続的に進めることを目的としたセッションです。発表者は公募のみです。第 132 回大会で設置される公募セッションは、学会ウェブサイトに掲載します（9 月下旬を予定）。
- 企画シンポジウムは、森林学に関する明瞭にまとまったテーマをもったシンポジウムです。発表者は公募せずコーディネータが決定します。企画シンポジウムの講演者も研究発表の申込みを行ってください。第 132 回大会で開催される企画シンポジウムは、学会ウェブサイトに掲載します（9 月下旬を予定）。

- 発表者は筆頭者に限ります。また筆頭者としての発表は、すべての発表形式を通じて1人1件に限ります（ただし学会各賞を受賞された方の受賞者講演は除きます）。筆頭者以外の著者による代理発表はできませんのでご注意ください。
- 部門別発表と公募セッションの発表者は本学会会員（2021年度分）に限ります。会員でない方は、研究発表申込みの前に、学会ウェブサイトの「入会案内」（<https://www.forestry.jp/welcome.html>）から入会の手続きを行ってください。
- 企画シンポジウムの発表者は内容によっては、若干名であれば非会員を発表者として認めます。ただし、非会員の発表者も大会参加費はお支払いいただくこととなります。
- 研究発表は、森林学に関する研究成果で、学術講演集の原稿の締切（2021年1月15日(金)）までに結果と結論の得られるものとします。
- 学会ウェブサイトから発表の申込みを行っていただきます。参加申込み、発表申込みのサイトは10月下旬に開設します。申込み方法の詳細は学会ウェブサイト（<https://www.forestry.jp>）でお知らせします。
- 申込みの際には共著者（特に学生の方は指導教員の先生等）とよく相談した上でお申込みください。研究発表申込みの際に登録した著者名・所属、題名は、2020年11月20日（金）17:00以降は修正ができません。したがって、学術講演集原稿の提出時にも修正ができません。
- 学術講演集原稿の提出が無い場合は発表は取り下げとなります。
- 口頭発表の方法は追ってお知らせします。

5. 部門キーワード

林政部門（委員長：横田康裕（森林総合研究所），委員：林雅秀（山形大学），三木敦朗（信州大学），芳賀大地（鳥取大学），垂水亜紀（森林総合研究所））

経済学・社会的アプローチ，森林・林業政策，林業経済，木材産業・流通，森林所有者，林業経営体・事業体，林業労働者，山村社会・経済，環境・資源ガバナンス，自然資源管理政策，文化，市民参加・住民参加

Forest Policy

economic and sociological approaches, forest and forestry policy, forest economy, forest products industry and market, forest owners, forestry management entities and forestry enterprises, forestry workers, mountain village society and economy, governance on the environment and resources, natural resource management policy, culture, public participation

風致・観光部門（委員長：愛甲哲也（北海道大学），委員：奥敬一（富山大学），庄子康（北海道大学），平野悠一郎（森林総合研究所），山本清龍（東京大学））

景観，公園緑地，自然公園，庭園，観光，レクリエーション，レジャー，ホスピタリティ，旅行業，保護地域管理，自然資源管理，協働型管理，野生動物管理，世界遺産，伝統文化，民俗，森林療養，心理と行動，里山，設計施工，文化的サービス

Landscape Management and Tourism

landscape, parks and open spaces, nature parks, gardens, tourism, recreation, leisure, hospitality, travel industry, protected area management, natural resource management, collaborative management, human dimensions of wildlife, world heritage, traditional culture, folklore, forest therapy, psychology and behavior, satoyama landscape, design and construction, cultural services

教育部門（委員長：杉浦克明（日本大学），委員：大石康彦（森林総合研究所），井上真理子（森林総合研究所），東原貴志（上越教育大学），青柳かつら（北海道博物館））

森林教育，森林環境教育，環境教育，野外教育，専門教育，学校教育，社会教育・施設，林産教育，木育，教材・プログラム，教育評価・効果，指導者養成，カリキュラムマネジメント，研修・安全教育，地域学習，地域連携，サイエンスコミュニケーション，教育倫理

Education

forest education, forest environmental education, environmental education, outdoor education, specialized education, school education, social education and facility, forest products education, wood education, teaching materials and program, educational assessment and effect, leadership training, curriculum management, training and safety education, community study, regional partnership, science communication, educational ethics

経営部門（委員長：広嶋卓也（東京大学），委員：露木 聡（東京大学），龍原 哲（東京大学），古家直行（森林総合研究所），當山啓介（東京大学））

森林計画，経営評価，機能評価，森林作業法，森林調査法，成長モデル，モニタリング，リモートセンシング，森林GIS，ランドスケープ管理，衛星画像，UAV，LiDAR，航空レーザ測量，地上レーザ測量，デジタル航空写真測量，SfM，REDD+，収穫予測，ゾーニング，オペレーションズリサーチ

Forest Management

forest planning, forest management assessment, forest function evaluation, forest working system, forest inventory, growth model, monitoring, remote sensing, forest GIS, landscape management, satellite image, UAV, LiDAR, airborne laser scanning, terrestrial laser scanning, digital photogrammetry, SfM, REDD+, yield prediction, forest zoning, operations research

造林部門（委員長：八木橋勉（森林総合研究所），委員：渡邊仁志（岐阜県森林研究所），平田令子（宮崎大学），酒井武（森林総合研究所），高橋一秋（長野大学））

人工林施業, 天然林施業, 目標林型, 成長, 競争, 林分構造, 現存量, 密度管理, 光環境, 育苗, 植栽, 天然更新, 萌芽, 保育, 間伐, 伐採, 低コスト造林, 長伐期, 複層林, 混交林, 広葉樹林化, 里山管理

Silviculture

planted forest management, natural forest management, target forest type, growth, competition, stand structure, biomass, density control, light environment, nursery practices, planting, natural regeneration, coppice, tending practices, thinning, cutting, low-cost silviculture, long-term rotation, multi-storied forest, mixed forest, restoration of natural forest, satoyama management

遺伝・育種部門（委員長：石塚航（北海道立総合研究機構），委員：玉木一郎（岐阜県立森林文化アカデミー），内山憲太郎（森林総合研究所），坪村美代子（森林総合研究所），齊藤陽子（東京大学））

遺伝子資源保全, 育種計画, 材質育種, 抵抗性育種, 花粉症対策, 特性評価, 採種園, 種苗増殖, 育苗技術, 組織培養, 分子育種, 量的形質遺伝子座, ゲノム解析, 連鎖解析, 遺伝子発現, 遺伝子流動, 遺伝構造, 遺伝的多様性, 系統地理, 適応, 交雑, 着花促進

Forest Genetics and Tree Breeding

genetic conservation, breeding strategy, improvement of wood property, breeding for resistance, countermeasure for pollinosis, test of specific character, seed orchard, propagation of nursery stocks, nursing technology, tissue culture, molecular breeding, quantitative trait locus, genomics, linkage analysis, gene expression, gene flow, genetic structure, genetic diversity, phylogeography, adaptation, hybridization, promotion of strobilus

生理部門（委員長：則定真利子（東京大学），委員：小島克己（東京大学），斎藤秀之（北海道大学），田原恒（森林総合研究所），津山孝人（九州大学））

樹木生理, 個体生理, 生態生理, 水分生理, 栄養成長, 生殖成長, 物質輸送, 栄養, 環境応答, ストレス耐性, 光合成, 呼吸, 代謝, 細胞小器官, 細胞壁, 植物ホルモン, 組織培養, 形質転換, 遺伝子発現, ゲノム解析, エピゲノム解析, オミクス解析

Tree Physiology

tree physiology, whole plant physiology, ecophysiology, water relations, vegetative growth, reproductive growth, transport, nutrition, environmental response, stress tolerance, photosynthesis, respiration, metabolism, organelle, cell wall, plant hormones, tissue culture, genetic transformation, gene expression, genomics, epigenomics, omics

植物生態部門（委員長：長池卓男（山梨県森林総合研究所），委員：今博計（北海道立総合研究機構林業試験場），鳥丸猛（三重大学），平山貴美子（京都府立大学），松井哲哉（森林総合研究所））

生物多様性, 生態系サービス, 生態系機能, 生態系管理, ゾーニング, 森林景観, 順応的管理, 生物群集, 生物間相互作用, 攪乱, 植生遷移, 物質循環, 森林動態, 落葉落枝, 樹形, 生活史戦略, 気候変動, 地理分布, モデル

Forest Ecology

biological diversity, ecosystem service, ecosystem function, ecosystem management, zoning, forested landscape, adaptive management, plant community, biological interaction, disturbance, plant succession, material cycle, forest dynamics, litter and woody debris, tree architecture, life-history strategy, climate change, geographical distribution, model

立地部門（委員長：大久保達弘（宇都宮大学），委員：石塚成宏（森林総合研究所），高木正博（宮崎大学），釣田竜也（森林総合研究所），徳地直子（京都大学），戸田浩人（東京農工大学），長倉淳子（森林総合研究所））

土壌生成, 土壌分類, 土壌理化学性, 土壌分析法, 炭素動態, 窒素動態, 物質循環, 水循環, 土壌生物, 花粉分析, 地位, 森林衰退, 大気降下物, 地球温暖化, 細根動態, 放射性物質, 生物地球化学, 土壌呼吸, 温室効果ガス

Forest Environment

pedogenesis, soil classification, soil physical and chemical properties, soil analysis, carbon dynamics, nitrogen dynamics, nutrient cycling, hydrological cycle, soil organisms, pollen analysis, site quality, forest decline, atmospheric deposition, global warming, fine root dynamics, radioactive substance, biogeochemistry, soil respiration, greenhouse gas

防災・水文部門（委員長：勝山正則（京都府立大学），委員：芳賀弘和（鳥取大学），吉藤奈津子（森林総合研究所），小田智基（東京大学），山川陽祐（筑波大学））

土砂災害, 表面侵食, 水循環, 流域, 降雨流出過程, 蒸発散, 樹木の水分生理, 土壌水分, 森林気象, 緑化, 水質, 生物地球化学過程, 同位体, トレーサー, 大気降下物, 地下水, 温室効果ガス, 気候変動, 水資源, 物質循環, モデリング, 気象害

Forest Disaster Prevention and Hydrology

sediment-related disaster, surface erosion, water cycle, catchment, rainfall-runoff process, evapotranspiration, hydraulic trait of trees, soil moisture, forest meteorology, revegetation, water quality, biogeochemical processes, isotope, tracer, atmospheric deposition, groundwater, greenhouse gases, climate change, water resources, material cycle, modelling, climate-induced forest damage

利用部門 (委員長: 有賀一広 (宇都宮大学), 委員: 鹿島潤 (森林総合研究所), 山口浩和 (森林総合研究所), 櫻井倫 (宮崎大学), 斎藤仁志 (岩手大学))

森林路網, 林業土木, 木材生産, 林業機械, 林業用ロボット, 作業システム, 環境へのインパクト, 労働科学, 技術者育成, 安全管理, バイオマス利用, 森林情報, サプライチェーン, ロジスティクス, ICT, 再造林技術

Forest Engineering

forest road network, forest civil engineering, timber production, forest machinery, forestry robot, working system, environmental impact, ergonomics, engineer fostering, safety management, biomass utilization, forest information, supply chain, logistics, information and communication technology, reforestation technology

動物・昆虫部門 (委員長: 梶村恒 (名古屋大学), 委員: 中村克典 (森林総合研究所), 山崎理正 (京都大学), 小池伸介 (東京農工大学), 加賀谷悦子 (森林総合研究所))

森林昆虫, 樹木害虫, きのこと害虫, マツ材線虫病, ブナ科樹木萎凋病, 森林動物, 野生動物管理, ニホンジカ, ツキノワグマ, 森林性鳥類, 土壌動物, 生物間相互作用, 共生, 生物群集, 食物網, 生態系, 生物多様性, 個体群動態, 密度調節, 種子散布, 外来生物, 系統進化

Forest Insects and Animals

forest insects, tree pests, mushroom pests, pine wilt disease, Japanese oak wilt, vertebrates in forests, wildlife management, sika deer, Asian black bear, forest birds, soil animals, biological interaction, symbiosis, ecological community, food web, ecosystem, biodiversity, population dynamics, regulation of population density, seed dispersal, invasive species, phylogeny and evolution

微生物部門 (委員長: 奈良一秀 (東京大学), 委員: 太田祐子 (日本大学), 松田陽介 (三重大学), 小松雅史 (森林総合研究所), 小長谷啓介 (森林総合研究所), 竹本周平 (東京大学))

菌類, 細菌類, 菌根菌, 内生菌, 木材腐朽菌, 共生, 寄生, 分解, 養分循環, 根粒, 窒素固定, 微生物群集生態, 微生物集団遺伝, 樹病, 病原, 防除, 抵抗性, マツ材線虫病, ブナ科樹木萎凋病, 線虫, ウィルス

Forest Microbes

fungi, bacteria, mycorrhizal fungi, endophytes, wood-decay fungi, symbiosis, parasitism, decomposition, nutrient cycling, root nodule, nitrogen fixation, microbial community ecology, microbial population genetics, forest pathology, pathogens, disease control, disease resistance, pine wilt disease, Japanese oak wilt, nematodes, virus

特用林産部門 (委員長: 奈良一秀 (東京大学), 委員: 太田祐子 (日本大学), 松田陽介 (三重大学), 小松雅史 (森林総合研究所), 小長谷啓介 (森林総合研究所), 竹本周平 (東京大学))

きのこ, マツタケ, シイタケ, エノキタケ, シメジ, たけのこ, わさび, うるし, 樹脂, 山菜, 竹材, トウ, 木炭, 樹実類, 薬用植物

Non-Wood Forest Products

mushrooms, Matsutake, Shiitake, Enokitake, Shimeji, bamboo shoot, wasabi, lacquer, resin, edible wild plants, bamboo, rattan, charcoal, wild fruits, medicinal plants

6. 大会参加の申込み

大会参加の申込みは, すべて学会ウェブサイトの大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンライン登録で行います。Fax, E-mail による大会参加の受け付けは行いません。大会参加・研究発表申込み専用サイトは, 学会のウェブサイトに10月下旬頃に開設します。

研究発表をする場合は, 大会参加の申込みと7.の研究発表の申込みの両方を行ってください。

締切: 2020年11月20日(金) 17:00 (研究発表をする場合)

締切: 2021年1月15日(金) (研究発表はしないが, 大会に参加し参加費を前納する場合)

- 登録の際, 会員番号の入力が必要です。

会員番号は日本森林学会誌が封入されている封筒の表側に記載されています。これから入会を予定しており, 参加申込みの時点で会員番号をまだお持ちでない方は, 専用サイトから登録を行う際に仮番号が自動的に用意されます。ただし, 研究発表をされる場合, 正式の会員番号が入力されなければ学術講演集原稿の提出ができません。

ん。学術講演集原稿の提出締切の2021年1月15日までに会員番号が確実にお手元に届くよう、どうか余裕をもって入会手続きを行ってください。

- 大会参加の申込み時に参加費の払込みを行います。
参加費の払込みは基本的に専用サイトからカード決済（VISA、MASTER）で、期日までをお願いします。大会参加費等の詳細は、学会ウェブサイトに掲載します。郵便振替をご利用の方は専用サイトで郵便振替選択ボタンをチェックの上、期日までに事務局で確認されるように振替を行ってください。払込取扱票は、参加者1名につき必ず1枚ずつ使用してください。郵便振替によるお支払いは、学会事務局で確認されるまでに7～10日程度かかる場合もあります。どうか余裕をもってお支払い手続きを行ってください。いったん納入された大会参加費は返却いたしません。
- 参加費の払込み手続きが行われない場合には、研究発表をキャンセルしたものととして処理いたしますのでご注意ください。
- 研究発表をしない場合、事前の参加申込み方法などについては現在検討中です。

7. 研究発表の申込み

研究発表の申込みは、学会ウェブサイトの大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンライン登録で行います。大会参加申込みをただけでは、研究発表の申込みは完了していません。必ず大会参加申込みの後に研究発表申込みを行ってください。専用サイトは10月下旬頃に開設します。

締切：2020年11月20日（金）17：00

- 研究発表の申込みの受理には、参加費の払込みが事務局で確認されることが必要となります。参加費の払込みが確認できない場合は、研究発表をキャンセルしたものととして処理いたしますのでご注意ください。
- 留意点などは、「4. 研究発表概要」を御覧ください。

8. 学術講演集原稿の提出

学術講演集の原稿は、学会ウェブサイトの大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンラインで入力してください。

締切：2021年1月15日（金）17：00

- 参加費の払込みが事務局で確認された時点で、入稿が可能となります。入会予定の方は、入会手続きの完了も必要となります。
- 原稿は、全角500字に相当するバイト数（制御文字含む）以内で日本語、または英語で入力してください（図表は使用できません）。ギリシャ文字、斜体、下付・上付文字などの入力は、入力画面の説明を参考にしてください（ワープロからコピー＆ペーストしても文字飾りは反映されませんのでご注意ください）。詳しい入力方法については、ウェブサイトに案内を掲載する予定です。また、2020年11月20日（金）17：00以降は、著者名・所属、題名の変更はできません。
- 学術講演集の印刷、配布、学会ホームページへの掲載については現在検討中です。また、大会終了後には大会発表データベース（予稿集公開システム J-STAGE）にて公開される予定です。

9. 学生ポスター賞について

日本森林学会学生ポスター賞の実施については、現在検討中です。

10. 高校生ポスター発表募集

高校生のポスター発表の実施については、現在検討中です。

11. 関連研究集会について

関連研究集会の実施については、現在検討中です。

12. 大会に関する連絡先

・日本森林学会への入会に関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会事務局
E-mail: office@forestry.jp

・第132回大会の参加申込み・発表申込みシステムに関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会事務局
E-mail: taikai@forestry.jp

・第132回大会の研究発表（部門別口頭発表，部門別ポスター発表，公募セッション，企画シンポジウム）に関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会プログラム編成委員会
E-mail: 132program@forestry.jp

・第132回大会学生ポスター賞に関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会学生ポスター賞選考委員会
E-mail: hyosyo@forestry.jp

・第132回大会高校生ポスター発表に関する連絡先
〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8
東京農工大学大学院農学研究院内
第132回日本森林学会大会運営委員会 高校生ポスター発表事務局
E-mail: high_school@forestry.jp

・第132回大会の上記以外（関連研究集会の申込みを含む）に関する連絡先
〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8
東京農工大学大学院農学研究院内
第132回日本森林学会大会運営委員会
E-mail: 132committee-groups@go.tuat.ac.jp